

第2回 淀川の魅力ある景観づくりに向けた検討会

●内容

①基本目標

- ・変更案について

②景観資源の発掘と整理

- ・淀川の魅力ある景観発掘コンテストの経過について
- ・景観資源に関するアンケート実施について
- ・現地調査の結果について
- ・景観資源の整理の方向性の変更案について

③景観資源の情報発信

- ・情報発信のあり方について

④景観資源を活用するための実施方策

- ・実施方策と全国事例について

変更前

基本目標（たたき台）

「多くの人を惹きつける景観魅力あふれる都市軸・淀川」

- 淀川沿川の多様な景観資源を効果的に活用し、多様な主体が連携しながら、川とまちが一体となったまちづくりの促進
- 淀川の豊かな自然環境の保全や再生への意識を共有し、地域の特徴を活かした空間づくりの促進
- 淀川の歴史や文化等のストーリー性を楽しめるようにすることで、景観資源の魅力を高める取組みの促進



変更後

基本目標（案）

「多くの人に様々な恵みを与えてくれる大河川・淀川」

基本方針（案）

- 淀川の豊かな自然環境の保全や再生への意識を共有し、地域の特徴を活かした空間づくりの促進
- 淀川の歴史や文化等のストーリー性を楽しめるようにすることで、景観資源の魅力を高める取組みの促進
- 淀川沿川の多様な景観資源を効果的に活用し、多様な主体が連携しながら、川とまちが一体となったまちづくりの促進

■ 変更点

- 都市軸 ⇒ 大河川
 - 〔・大阪平野を生んだ大河川。〕
 - 〔・大阪を豪雨から守っている大河川。〕
- 基本目標と基本方針に分け順番変更
- 基本目標を景観に特化した内容
⇒様々な恵みを享受している内容に変更

基本目標について

変更後

基本目標（案）

「多くの人に様々な恵みを与えてくれる大河川・淀川」

基本方針（案）

- 淀川の豊かな自然環境の保全や再生への意識を共有し、地域の特徴を活かした空間づくりの促進
 - ・ワンドや干潟の役割や保全活動の重要性について、学校や地域社会の自然学習等の場を通じて発信することで、淀川への関心や愛着を育てる。また、ワンド等の位置をわかりやすく示し、アクセス性を高めることで、自然が身近に感じられる空間づくりを行う。
- 淀川の歴史や文化等のストーリー性を楽しめるようにすることで、景観資源の魅力を高める取組みの促進
 - ・テーマに沿った景観資源をつなぐことで、ストーリー性のある観光ルート等を提案したり、観光船内の案内で、景観資源が持つ歴史的な背景や成り立ち等を合わせて発信するなど、多様な人の関心を惹くコンテンツづくりを行う。
- 淀川沿川の多様な景観資源を効果的に活用し、多様な主体が連携しながら、川とまちが一体となったまちづくりの促進
 - ・多様な主体が連携し、河川空間を活用できる仕掛けづくりを行う。河川空間を活用した活動が継続的な取組みとなることで、川とまちをつなぐ、にぎわいのある新たな景観の創出につながる。

<コンテストの応募状況（平成30年9月12日時点）>

■総応募枚数：54枚

【内訳】<郵送> 応募枚数：17枚

<SNS> 応募枚数：37枚

【傾向】<時間別> 朝：6枚 / 昼：16枚 / 夕：27枚 / 夜：5枚

<資源> 橋梁、水面の反射、自然（ススキ）、大阪市内の高層ビル群、
水上レジャー、舟運 等

<撮影場所> 河川公園内、天満橋、梅田スカイビル 等

<コンテストの審査について>

【審査委員構成（案）】

藤本教授、加我教授、石田准教授、国土交通省淀川河川事務所、大阪府、京都府

【審査基準】

- ・淀川らしさ、淀川の景観魅力が写真もしくはセールスポイントに表現されているか。
- ・撮影季節、時間帯、アングルが斬新であるか。
- ・これまであまり認知されていないものであるか。

等

【審査方法】

- ・各委員により6位までの順位付けを行う。各順位に伴う点数を集計し、合計点数が高い写真の中から、大賞、優秀賞、入賞を決める。
- ・参加賞については、抽選を行い、発送をもって通知する。

※応募写真とみなし難いものへの対処方法

- ・セールスポイントがない写真（SNS）
⇒募集締切後、ダイレクトメッセージで問い合わせ、返信がないものは審査対象外
- ・淀川の景観写真とは言い難いもの
⇒人物のみや、淀川から撮影（又は淀川の写真）と判断できないもの等は審査対象外

【結果公表】

- ・入選写真、撮影位置、評価、名前（希望する場合のみ）等を**HP**に掲載。

○陸上調査

●調査の意義・目的

○健康づくりの機運が高まる中、スポーツサイクル等の自転車が集めている。

○本調査は、実際に訪れることで、既存サイクルルート等をはじめ、写真ではわからない場所性や景観資源の見え方を確認するとともに、新たな景観資源や景観資源の新たな魅力の発掘を行う。

●調査のエリア（豊里大橋～淀川新橋間）

○都市地域と自然豊かな地域の間で、駅から川へのアクセス性がよいエリア。

○橋梁等のシンボリックな構造物やワンド等の自然環境、緊急船着場等、景観資源が集積したエリア。

○水上調査

●調査の意義・目的

○昨年八軒家～枚方の定期観光船の運航が始まるなど、今後、ますます舟運が活況になることが予想される。

○本調査は、実際に訪れることで、写真ではわからない場所性や水上からの景観資源の見え方を確認するとともに、新たな景観資源や景観資源の新たな魅力の発掘を行う。

●調査のエリア（天満橋～枚方緊急船着場間）

○天満橋～枚方の緊急船着場までの定期航路。

○陸上調査の結果



陸上から見た「橋梁」

○ 様々な橋梁のタイプは、単調になりやすい空間にアクセントを与えていた。しかし、人や自転車が通行できるかどうかはわからなかった。

○水上調査の結果



水上から見た「橋梁」

○ 様々な橋梁のタイプは、単調になりやすい空間にアクセントを与えていた。歴史的な背景のアナウンス等があれば、より舟運の魅力が高まるのではないか。

○陸上調査の結果



陸上から見た「ワンド」

- ワンド付近は、木々が少なく開けた空間であり、対岸がよく見えた。
- 希少生物の生息するワンドは所々に存在しているが、どこにワンドがあるのかわかりにくかった。

○水上調査の結果



水上から見た「ワンド」

- ワンド位置や形状を確認することができたが、その範囲がわからないものもあった。
- 解説等のアナウンスがあれば特定しやすく、観光にも活きるのではないか。

○陸上調査の結果



遊歩道の様子

- 部分的に、両側をみどりに囲まれた空間が存在し、自然を感じながら走ることができた。

○水上調査の結果



水際の様子(芥川合流部)

- 青空、山並み、みどり、水面のコントラストが美しい自然景観が見られた。
- 水際で釣りを楽しむ活動も見られた。

○陸上調査の結果



陸上から見た「石碑」

- 歴史が継承されるよう、所々に石碑(渡しの碑等)が建てられているので、歴史的な景観資源として、有効活用していくことはできないか。

○水上調査の結果



水上から見た「石碑」

- 石碑にまつわる歴史的な背景のアナウンス等があれば、景観の捉え方が変わるのではないか。

○陸上調査の結果



陸上から見た「人の活動」

- 高水敷の雄大な広がり、淀川の特徴的な資源であるが、緑陰等のちょっとした休憩スポットがあれば、尚良くなるのではないか。

○水上調査の結果



水上から見た「人の活動」

- 水上では、SUP等を楽しむ人の活動が見られた。
- このような水上レジャーは、河川幅の広い淀川ならではのものであり、その活動が持続的に行われることで新たな景観資源になるのではないか。

変更前

(視点場は、河川の内側。視対象を内から望む場合、河川の内から外を望む場合)

■ 定義

遠景は、都市全体を対象とするレベル
中景は、街区や地区レベル
近景は、建物の単体とその周辺のレベル

| 種別 スケール | 自然 | 都市・インフラ | 歴史 | 活動 |
|-------------|--|---|---|--|
| 大景観 (遠景) | <input type="checkbox"/> 山並み <input type="checkbox"/> 海岸 | <input type="checkbox"/> 超高層ビル群 <input type="checkbox"/> 大規模建築物等 ・さきしまコスモタワー ・梅田スカイビル ・グランフロント ・レッドホース オオサカ ホイール ・高圧鉄塔 | | |
| (中景) | <input type="checkbox"/> ワンド <input type="checkbox"/> ヨシ原 <input type="checkbox"/> 干潟 <input type="checkbox"/> 三川合流の桜並木 | <input type="checkbox"/> 淀川河川公園 | <input type="checkbox"/> 堤 | <input type="checkbox"/> 舟運・鉄道 <input type="checkbox"/> 淀川河川公園内における イベント活動 (淀川アーバンキャンプなど) <input type="checkbox"/> ワンド・ヨシ原保全活動 |
| 小景観 (近景) | | <input type="checkbox"/> 橋梁 <input type="checkbox"/> 緊急船着場 <input type="checkbox"/> 淀川大堰 <input type="checkbox"/> 閘門・水門 <input type="checkbox"/> さくらであい館 <input type="checkbox"/> 煙突 | <input type="checkbox"/> 渡し船跡の碑 <input type="checkbox"/> 寺社仏閣 ・石清水八幡宮 など <input type="checkbox"/> 枚方パーク (大観覧 車) | <input type="checkbox"/> うなぎ <input type="checkbox"/> 野鳥 |

景観資源の発掘と整理について


景観資源の整理の方向性の
変更案について

変更後

(視点場は、河川の内側。視対象を内から望む場合、河川の内から外を望む場合)

■ 定義

遠景は、都市全体を対象とするレベル
近景は、建物の単体とその周辺のレベル

| 種別 スケール | 自然 | 都市・インフラ | 歴史 | 活動 |
|--|--|--|---|--|
| 遠景  近景 | <input type="checkbox"/> 山並み <input type="checkbox"/> 海岸 <input type="checkbox"/> 淀川河川公園 <input type="checkbox"/> ワンド <input type="checkbox"/> ヨシ原 <input type="checkbox"/> 干潟 <input type="checkbox"/> 三川合流の桜並木 <input type="checkbox"/> 遊歩道 | <input type="checkbox"/> 超高層ビル群 <input type="checkbox"/> 大規模建築物等 ・さきしまコスモタワー ・梅田スカイビル ・グランフロント ・レッドホース オオサカ ホイール ・高圧鉄塔 <input type="checkbox"/> 淀川河川公園 <input type="checkbox"/> 橋梁 <input type="checkbox"/> 淀川大堰 <input type="checkbox"/> 閘門・水門 <input type="checkbox"/> 枚方パーク (大観覧 車) <input type="checkbox"/> 煙突 <input type="checkbox"/> さくらであい館 <input type="checkbox"/> 緊急船着場 | <input type="checkbox"/> 堤 <input type="checkbox"/> 寺社仏閣 ・石清水八幡宮 など <input type="checkbox"/> 枚方パーク (大観覧 車) <input type="checkbox"/> 渡し船跡の碑 | <input type="checkbox"/> 舟運・鉄道 <input type="checkbox"/> 淀川河川公園内における イベント活動 (淀川アーバンキャンプなど) <input type="checkbox"/> 水上アクティビティ (水上バイク、SUPなど) <input type="checkbox"/> ワンド・ヨシ原保全活動 <input type="checkbox"/> うなぎ <input type="checkbox"/> 野鳥 |

■ 変更点

- 明確なスケール区分を消去
- 景観資源の事例の追加・変更
(追加、複数の種別に該当など)



- ・表では表現できないものもあるので、写真とともに資源の特徴をプロットしていく予定
- ・コンテストの結果等を踏まえ、更新するとともに、景観資源の組合せパターンについても別途整理予定

<誰が>

- ・沿川の企業等（しかけの主体等）
- ・淀川で活動する人々
（自然保全、サイクリスト、ランナー、釣り、
写真、インスタグラマー、ユーチューバー等）
- ・行政機関

<何を使って>

- ・インターネット（SNS）
- ・物（商品、出版物等）
- ・施設（ex.梅田スカイタワー等）
- ・交通（船、電車）

<どんな情報を>

<淀川の基本情報>

- ・淀川の特長
 - ・川の怖さ
 - ・人命、財産を守る
 - ・渡河橋の通行の可否（人・自転車）
- ・景観資源の見所（場所、時期）



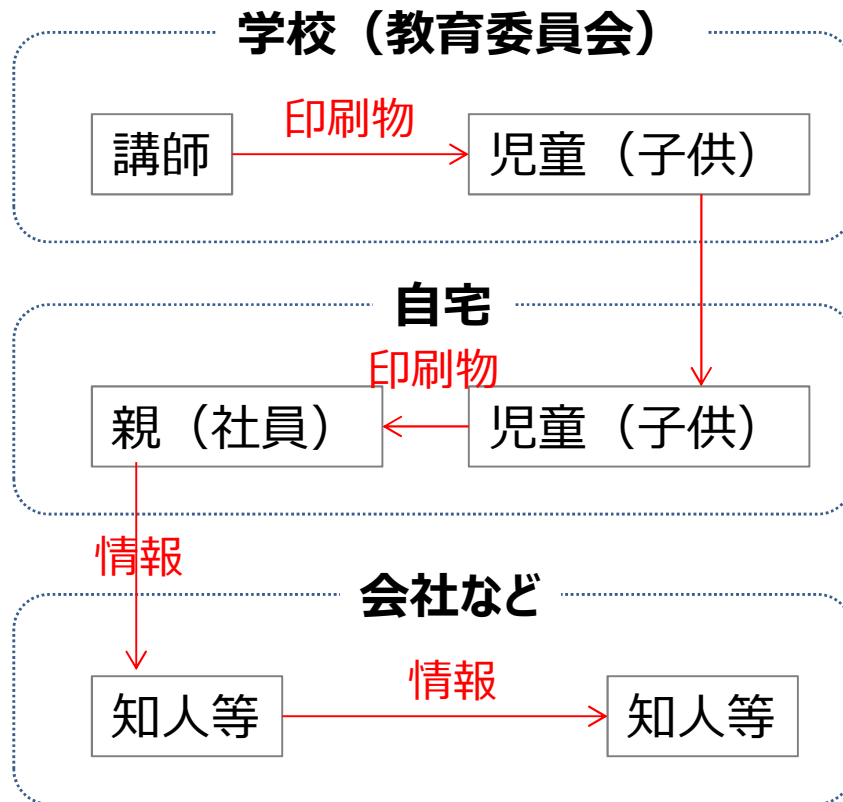
<景観資源をより魅力的にする情報>

- ・景観資源が持つ歴史的な背景・役割
- ・景観資源のつながりや関係性
（テーマごとにまとめて発信する等）

【ケース1：物を媒体にした情報拡散】

- 発信者：講師
- 発信の受け手：児童

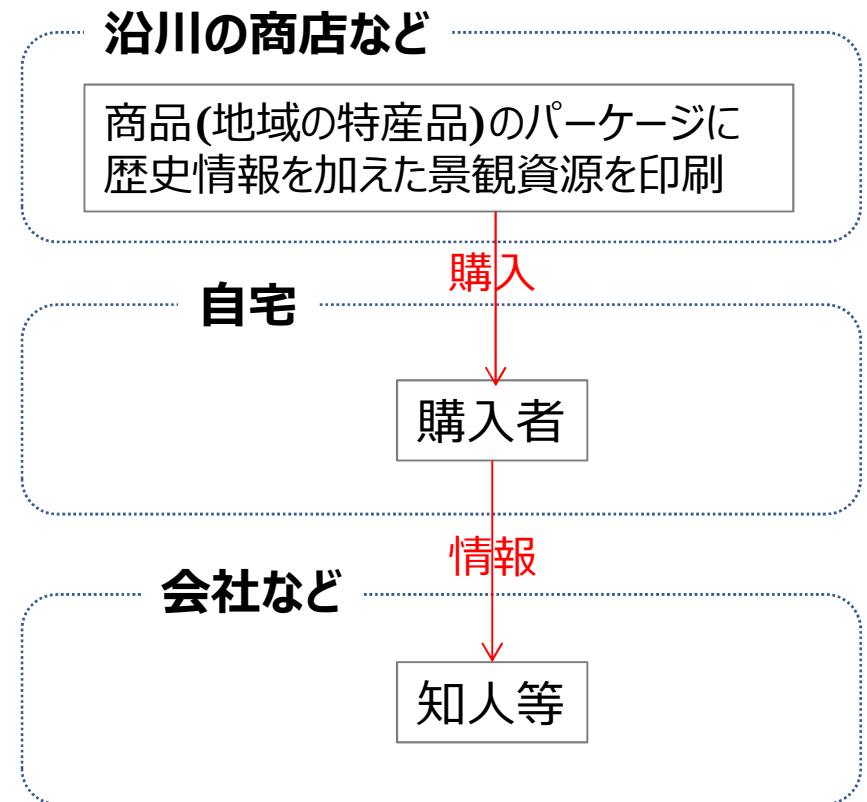
【イメージ】



【ケース2：物を媒体にした情報拡散】

- 発信者：沿川の商店、観光協会等
- 発信の受け手：観光客、地域住民等

【イメージ】



来訪者を増加させるとともに、地域の淀川への愛着心を醸成することを目的とする

方策1 来訪者に適切な誘導をするための案内標識の設置

<事例> 看板設置/太田川 [一級河川] (広島県)

- ・実施概要：河川協力団体制度を活用し、民間団体等が案内標識を設置しているもの。
- ・実施主体：民間団体等（自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO等）
- ・費用負担：同上

方策2 民間施設を活用した観光スポット（モニュメント）の創出

<事例> 壁画(浪漫やさかい)/堺旧港 (大阪府堺市)

- ・実施概要：官民連携により、民間施設の壁を利用した景観資源（壁画）を創出しているもの。
- ・実施主体：堺市
- ・費用負担：堺市が全額負担

方策3 沿川施設での淀川の魅力情報の発信

<事例> 日没時刻の紹介/淀川 [一級河川] (大阪府)

- ・実施概要：淀川の夕景の魅力を体感してもらうため、施設内で情報発信しているもの。
- ・実施主体：梅田スカイビル
- ・費用負担：同上

方策4 レジャー感覚で楽しむ新たな視点場の創出

<事例> 気球/笛吹川 [一級河川] (山梨県)

- ・実施概要：気球により視点場を創出し、景観資源（花）を上空から楽しむもの。
- ・実施主体：一般社団法人 笛吹市観光物産連盟
- ・費用負担：同上
- ・利用内容：搭乗料金：大人**2000**円、子供**1500**円
搭乗人数：**5,6**人程度
搭乗時間：**5～6**分

方策5 淀川のもつ歴史やストーリーを踏まえた船内コンテンツの充実